

復帰協 第07-72号
平成19年10月5日

各都道府県・政令指定都市
精神障害者退院促進支援事業
担当部署長 様

(財)精神障害者社会復帰促進協会
理事長 麻生 幸二
(公印省略)

平成19年度退院促進支援事業関係者研修会
の情報の周知について(依頼)

清秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

当協会は平成12年より大阪府から委託を受け、退院促進支援事業を実施する団体です。

このたび、別紙の要領で、全国で退院促進支援事業を取り組んでおられる方・関心をお持ちの方を対象とした研修会を実施する運びとなりました。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、退院促進支援事業の委託先等にご周知いただきますよう、お願い申し上げます。

※同封の参加募集案内は、ホームページよりダウンロードしていただけます。

HomePage : <http://www.max.hi-ho.ne.jp/hukikyo/>

連絡先：(財)精神障害者社会復帰促進協会

(ふっききょう)事務局

担当：伊永 大澤 田渕 岡本

大阪市中央区内本町1-1-5 プラスサンビル601

電話：06-6944-3592 Fax：06-4791-4895

Mail：hukikyo@max.hi-ho.ne.jp

平成 19 年度退院促進支援事業関係者研修会 参加者募集のご案内

開催日：平成 20 年 1 月 31・2 月 1 日（木・金）

会場：アピオ大阪（大阪市立労働会館）
〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-17-5
電話：(06) 6941-6331

主催：財団法人精神障害者社会復帰促進協会
共催：大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会（予定）
後援：大阪府・大阪市・堺市（予定）

ごあいさつ

今回で3回目になりますが、表記研修会を大阪で開催させていただきます。

社会的入院という今でこそ聞きなれてきたこの言葉が使われ始めたのは、2002年の入院患者調査でおよそ7万人の人が医療的にはいつでも退院できるという結果が出た頃からかと思われま

す。7万人の「社会的入院」者を2014年までに退院できる道筋をつけようとした厚生労働省の目標に沿って関係者は懸命に力を傾けているところですが、現状は遅れ勝ちです。

大阪府が2000年に先鞭をつけた退院促進支援事業ですが、3年後に国の事業になり、今では実施していない都道府県・政令指定都市はごくごく少数派になりました。

退院促進支援事業の方法は全国で多くの異なった方法が考え出され、また実施されていると思われま

すが、多くの事業形態の中で必ずあるのが自立支援員という役割です。退院に消極的な一人の事業利用者の気持ちを励まし寄り添って支え、退院を支援する過程で重要な役目を担うのが、自立支援員です。

今回の研修会は、この支援員に焦点を当て役割や課題について意見を交換し、積み重ねてお互いが示唆を得られるようなものを目指します。そして支援の役割をより有効にすると思われる職種間の連携についても考えます。

ますます複雑になった社会生活への復帰は多くの専門職の連携で支えることが必要です。この連携こそが退院へのスムーズな流れと、退院後の安定した生活環境を作る条件ではないでしょうか。

今回もいろんな現状を共有し積み上げて退院促進支援事業に取り組む上での一助に出来たらと思います。

福祉は人に負っていると言われますが、つくづくそう感じます。

今回も大阪から呼びかけさせていただきました。

多くの方々のお申し込みをお待ちしております。

研修会概要

◇対 象

全国の退院促進支援事業に携わる人、または関心のある人。

◇定 員

100名

*お申し込みが定員を超えた場合・・・

研修会の目的上、事業実施実務者の申し込みを優先させていただきます。

申し込み多数の場合、できるだけ多くの都道府県からご参加いただくために申込者の所属する地域で調整をさせていただく場合があります。

スケジュール

1日目

- 13:15 受付開始
- 14:00~14:15 開会の挨拶
オリエンテーション
- 14:15~16:15 公開セミナー「利用者と歩いた道 ~自立支援員の役割について~」
コメンテーター：神戸女学院大学 文学部総合文化学科教授 岩田 泰夫 氏
発表者：社福) 京都光彩の会 京都市中部精神障害者地域生活支援センター
なごやかサロン 自立支援員 渡辺 恵司 氏
財) 精神障害者社会復帰促進協会 自立支援員 富永 啓子 氏
財) 精神障害者社会復帰促進協会 自立支援員 岸原 奈津 氏
- 18:00~20:00 懇親会

2日目

- 9:30 受付開始
- 10:00~11:30 シンポジウム「立場は違えど思いはひとつに ~支援事例を通して~」
話題提供者：社福) 息吹 地域活動支援センター パオみのお
障害者ケアマネジメント従事者 切通 晃 氏
医) 松柏会 榎坂病院 PSW 河本 尚子 氏
財) 精神障害者社会復帰促進協会 自立支援員 萩原 麗子 氏
- 13:00~15:00 グループディスカッション「職種間の連携について ~各地の実践~」
各グループ進行：大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会スタッフ
- 15:15~15:30 閉会の挨拶

内容

1日目

公開セミナー 「利用者と歩いた道 ～自立支援員の役割について～」

退院促進支援事業の特徴として挙げられるのは、自立支援員の支援です。一般的に自立支援員は事業利用者と向かい合い、本人に合わせた支援を行っているといわれています。

しかし、実際の場面で自立支援員は普段どのように事業利用者に関わり、どんなことに気をつけているのでしょうか。

1日目のプログラムでは、3名の自立支援員から実際の支援の取り組み方についてお話していただきます。その後、自立支援員の関わりについて神戸女学院大学 岩田 泰夫 教授より整理していただき、自立支援員の支援における有効性などについて見識を深めていただきます。

2日目

シンポジウム 「立場は違えど思いはひとつに ～支援事例を通して～」

グループディスカッション 「職種間の連携について ～各地の実践～」

退院促進支援事業をより効果的に活かすためには、自立支援員によるよりその支援と共に、事業利用者に携わる各職種がそれぞれの役割をこなし、かつ、お互いに連携をとりながら支援を進めていくことが重要です。

2日目のプログラムでは、退院促進支援事業を通して一つの事例に携わった病院ケースワーカー、ケアマネジメント従事者、自立支援員より事例報告していただきます。その後、参加者の皆様には小グループに分かれ、事例報告を参考にしながら、それぞれが思う職種間の連携について語り合ってください。

また、他府県で退院促進支援事業に関わっておられるスタッフとの貴重な意見交換の場となることも期待しております。

参加費等経費について

参加費

6,000 円

懇親会

日時：1月31日 18:00-20:00

会場：アピオ大阪宴会場 錦

会費：4,000 円 ※参加を希望される方は、研修会の申し込み時にお願いいたします。

2日目の昼食

当日の昼食は各自でご準備下さい。

会場での飲食は可能です。会場周辺にコンビニエンスストア、レストラン等もあります。

1Fに軽食堂はありますが、小規模ですので参加者が同時に昼食を取ることはできませんのでご了承下さい。

申し込みについて

申し込み方法

6ページの参加申込書をご使用の上、ファックスか郵送でお申し込み下さい。

受付後、手続き案内書、参加票と振込み用紙等書類を送りますので、手続き案内にそって、参加費振込み等の手続きを完了して下さい。

なお、お振込みは郵便振込でお願いいたします。銀行振込をご希望の方は事務局までご連絡下さい。

申込期限

平成19年12月3日(月) 必着です。

申し込み・連絡先

財団法人精神障害者社会復帰促進協会 退促関係者研修会係
〒540-0026 大阪市中央区本町1-1-5 プラスサンビル6F

電話：(06) 6944-3592

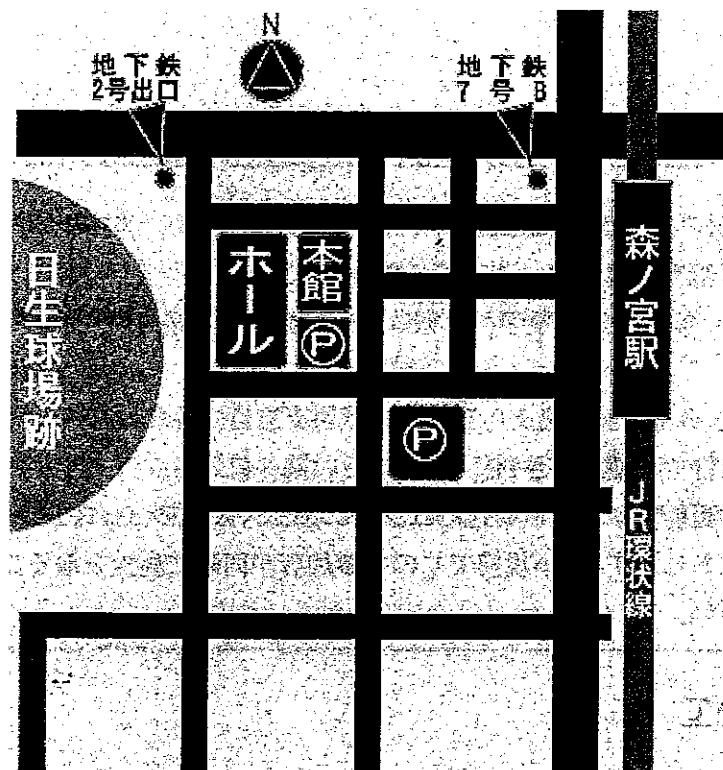
FAX：(06) 4791-4895

E-mail：hukikyo@max.hi-ho.ne.jp

HomePage：http://www.max.hi-ho.ne.jp/hukikyo/

(電話でのお問い合わせは 月～金 9:00～17:00 でお願ひします)

会場周辺地図/交通機関



(地下鉄中央線・地下鉄長堀鶴見緑地線・JR環状線「森ノ宮駅」下車
西へ徒歩すぐ日生球場跡東隣)

会場：アピオ大阪（大阪市立労働会館）

〒540-0003 大阪府大阪市中央区森ノ宮中央 1-17-5

電話：(06) 6941-6331

会場まで：

新大阪から

- JR 東海道本線で大阪まで 3 分。大阪から JR 大阪環状線で森ノ宮まで 10 分。

関西空港から

- JR 特急はるかで天王寺まで 30 分。天王寺から JR 大阪環状線で 9 分。

伊丹空港から

- 空港バスであべの橋（天王寺）まで 30 分。天王寺から JR 大阪環状線で 9 分。

- 空港バスで大阪駅前まで 30 分。大阪から JR 大阪環状線で森ノ宮まで 10 分。

- 大阪モノレールで蛍池まで 3 分。蛍池から阪急宝塚線快速急行で梅田まで 13 分。

梅田から大阪まで徒歩 5 分。大阪から JR 大阪環状線で森ノ宮まで 10 分。

退院促進支援事業関係者研修会 参加申込書

フリガナ		
氏名		
都道府県		
所属先		
分類	① 地域活動支援センター（地域生活支援センター） ② 医療機関 ③ 社会復帰施設等 ④ 精神保健福祉センター ⑤ 保健所・保健センター ⑥ その他()	
連絡先 郵便番号		
住所		
TEL		← TEL、FAX、メールの内、 優先する連絡先に○印をご記入下さい。
FAX		
メールアドレス		
立場	① 担当者 ② 自立支援員 ③ その他()	
退院促進支援事業に携わった年数	年	
実施状況	① 実施中 ② 実施予定 ③ その他()	

研修会参加費領収書 要 ・ 不要
宛名 ()

懇親会 参加 ・ 不参加
懇親会参加費領収書 要 ・ 不要
宛名 ()

※ 研修会参加者名簿を作成し、当日配布させて頂きます。
名簿に掲載したくない項目がある場合、以下の表にしるしをお付け下さい。

都道府県名	名前	ご所属	連絡先住所	TEL	FAX	メール

お申込先: 財団法人精神障害者社会復帰促進協会 退院促進支援事業関係者研修会係
 〒540-0026大阪市中央区内本町1-1-5 プラスサンビル6F
 FAX: 06-4791-4895

申込締切日: 平成19年12月3日(月)